

**民間企業の製品・技術の活用が期待される課題
(ラオス)**

開発課題(*)	<p>ラオス政府は、2025年までのユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の達成を目標とし、医療サービスの提供体制の改善に取り組んでいる。しかしながら、特に地方部においては貧困率が高く医療サービスの提供体制が不十分であるため、保健指標が低くなっている。このため、医療サービス質改善と医師・看護師など医療人材育成が優先課題となっている。</p> <p>しかし機材の老朽化や不足により、増大する患者のニーズや人材育成のニーズに対しては、十分に応えられていないのが実状である。また、地方部においては、熟練技術者による出産介助は、都会の90%に比して、50%と低い(*LSISII, 2017)。このような背景により、自宅出産する妊婦が多く、医療従事者が基本的な医療機器を携行し村の巡回訪問をより頻回に行い、妊産婦の状況把握することが必要とされている。</p>
想定地域名 (州・県名)	ラオス全国
関連する公的機関名	保健省、保健局、病院、ヘルスセンター、プライベートクリニック
関連する ODA プログラム・プロジェクト	保健医療サービスの質改善プロジェクト
留意点	
備考	
活用が想定される製品・技術・ノウハウ(*)	ポータブル超音波機器等
市場規模	

(*)は必須入力